



禁

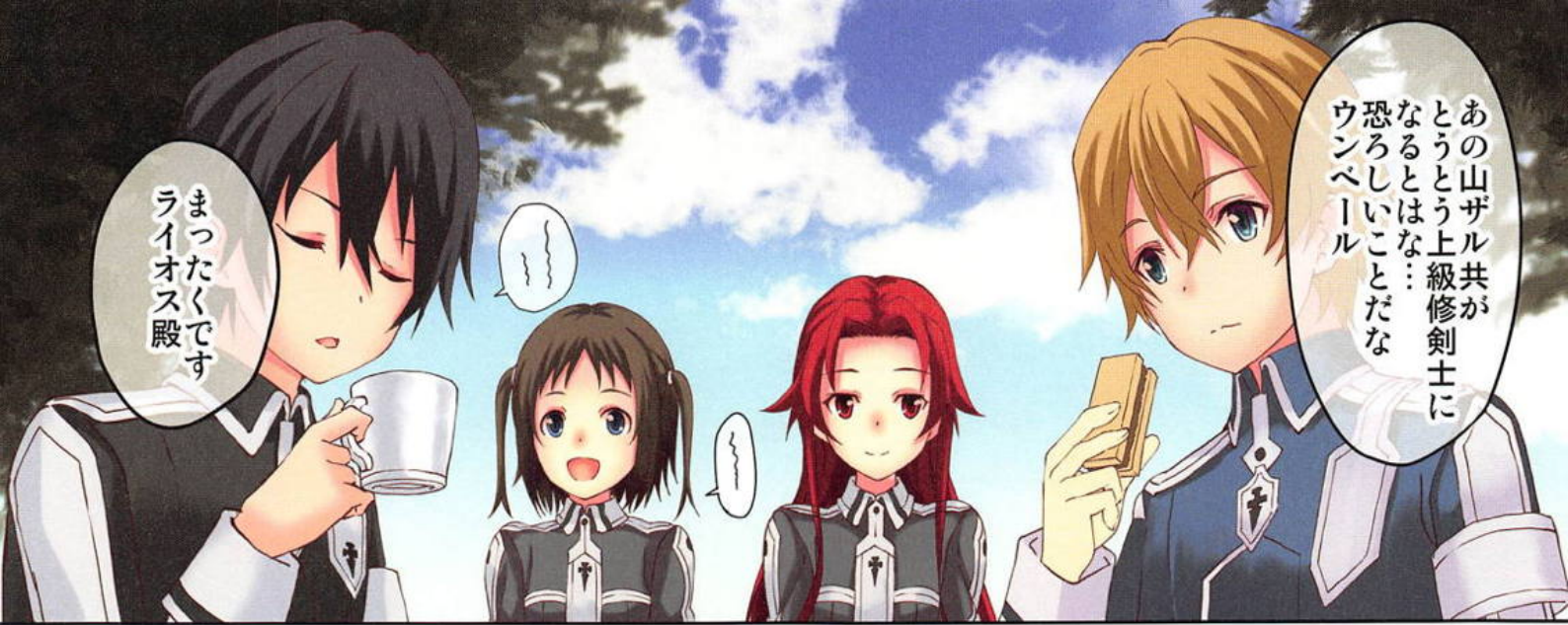
忌

侵

犯

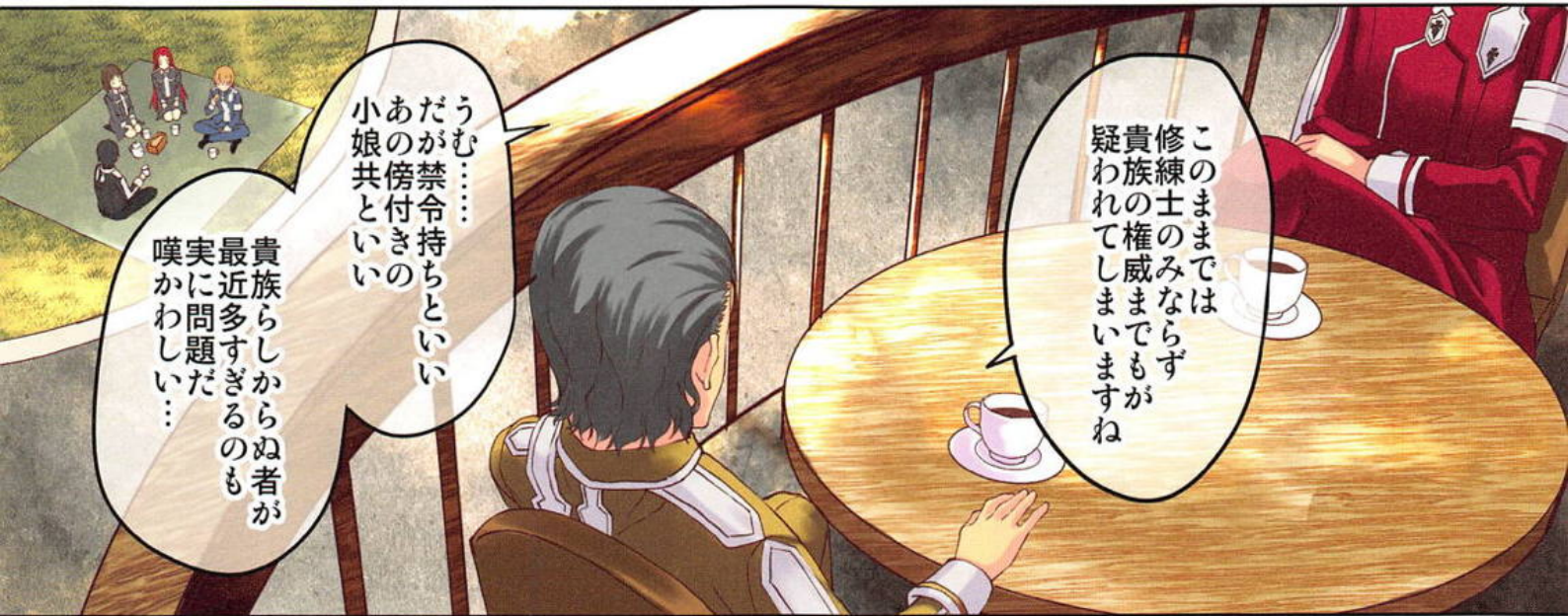
R18  
ADULT ONLY





あの山ザル共がとうとう上級修剣士になるとはな...恐ろしいことだなウンベール

まったくですライオス殿



このままでは修練士のみならず貴族の権威までもが疑われてしまいますね

うむ...だが禁令持ちの小娘共といい

貴族らしからぬ者が最近多すぎるのも実に問題だ...  
嘆かわしい...



確かに...それにしてもなぜセルルト殿があのだのしようかね

確かに...まあ所詮女ですからね案外身体で墮としたのかもしれないね

よく刻限を超えて指導を受けていたようだからな

知らんよ大方汚い手を使って弱みでも握って脅したのだろう

まったくどんな指導をしていたのやら...



きっと個人指導と称して――

それじゃ先輩――

まずは下着から脱いでください

こんな事...  
本当に許されると  
思っているのか  
キリト...

許されるも何も  
これは先輩の  
為なのですから  
あの手(？)が  
出るに出たら...

わかったから！

やはり立派なものをお持ちですね

これは色々  
楽しめそう

う...まだ誰にも  
見せたこと無いのに...

んんん



それじゃ次は  
その立派なもので  
挟んでください

そして舌で  
奉仕するんですよ

びんちゅ…  
びんちゅ…

おや、なかなか  
上手じゃないですか  
では一度出すので  
ちやんと全部  
飲んでください

んむ…  
んむ…

ぽんぽん

ぽんぽん

せにゃ  
せにゃ

んっ!  
んんんっ!!

ケホッ!  
ケホッケホッ!!

よく出来ました先輩  
それじゃこっちも  
ご褒美をあげないと  
いけませんね

え…ちよつと  
ま、待つんだ  
キリト!

ま、まさか…  
それで私の…

ええ、先輩の処女  
俺がちやんと貰って  
あげますからね



やめて！  
キリト君！

あー  
あああっ！！

だ、だめえっ！  
いやあああっ！！

おやおや  
初めてのくせに  
こんなに締め付けて  
全くイヤらしい  
先輩ですね

ひぐっ！

やめなさい！  
いやあああっ！！



どうやら先輩はまだ自分の立場がわかっていないようですね

あ、あああ！  
これ以上は……！  
うああ！！

やめ……て……  
おねがい……

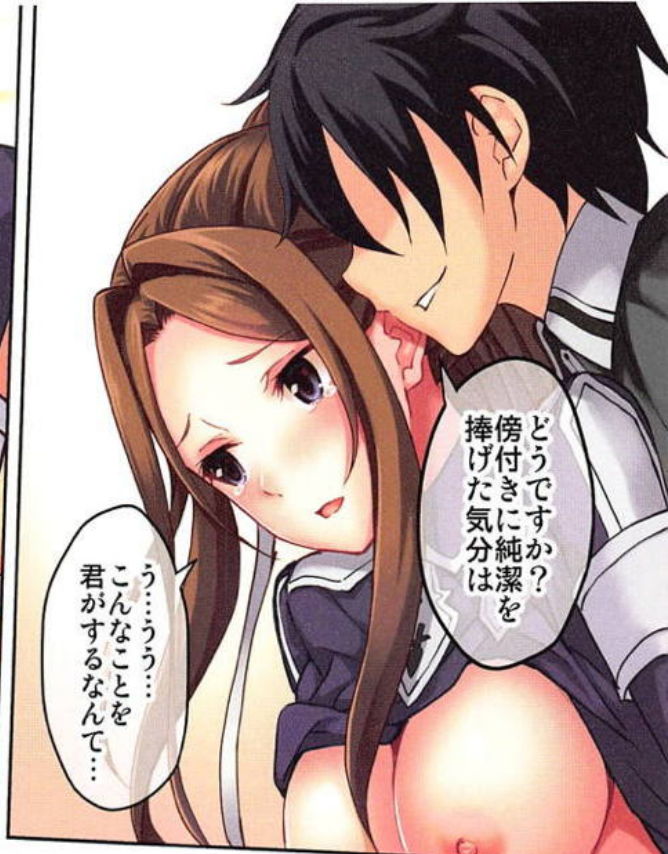
先輩が指導しないなら俺が代わりに教育してあげますよ  
孕むまで中に出して——ね

はら……  
そ、そんな……

さあ  
いさますよ——

ひいっ！  
いいやああっ！

蓋



どうですか？  
傍付きに純潔を捧げた気分は

う……う……  
こんなことを君がするなんて……



こんなこと？  
これからですよ

え……？

せーるん

次は正面から顔を見ながらね

きやつ！





な、中は  
ダメえ!!

あ、や—  
あああつ!!

ドクッ ドクッ ドクッ



—そんな具合に  
| 案外山ザルの  
子でも孕んで  
世間に顔出し出来ないの  
かもしれませんな

……う、うむ  
そ、そうかもしれんな  
まった、これだから  
無姓の開拓民は……



貴族に対する  
心得がまったく  
なっておらぬのです

これは一度  
強く躰ける  
必要があるかと…

そうだな  
だがあの本人共に  
懲罰を課しても  
効果はあるまい

では傍付きに  
その責任を  
とってもらうのは  
どうでしょう？

あの山サルの教育を受けた  
小娘共なら撲殺すれば…

シュトリーネン  
アラベル  
両初等錬士

貴君らが犯した  
逸脱行為により  
我らは禁忌目録に則った  
貴族裁決権を行使するが  
何か反論はあるかね？

……

尚、これ以上  
上級貴族たる我らに  
礼を逸するならば  
その断罪は指導生や  
家名にまで  
及ぶ事と知れ

反論は…  
ありま…せん…



それでは——  
恭順の証として  
まずは私のモノを口で  
綺麗にして貰おうか

ひっ……!

何をためらって  
いるのかね?  
普段彼らにしている  
ことだろうか?

そんなこと……

ユーシオ  
修剣士殿は……  
こんなこと  
命令したり  
しません……

ほう……  
では初めてと  
いうわけか

それなら私が  
自ら丁寧に  
教えてやる  
ことにしようか

そうだ  
そうやって舌で  
舐めるようにな

はい……

出てきた液も  
ちやんと  
舐めとるんだぞ

……  
わかり……  
ました……

いいぞ……  
それじゃ次は  
その口で  
啜るんだ

はん……  
……

ちゅ……

ピョ  
ピョ

フン、初めてのわりに  
上手ではないか  
何がした事無いだ  
いやらしい小娘共め

いいだろう  
褒美をくれて  
やろう





さあ  
受け取れ!

きやあつ!

やああつ!!

あああつ!



う...  
あ...あ...

フフフ...  
存分に堪能して  
もらえたようだな

私の貴重な子種だ  
口に入ったものは  
吐き出さずにな

.....

技術はまだまだだが  
これから何度も  
指導してやるからな



よし—それでは次は一枚ずつ脱いで貰おうか  
抵抗すればお前らの指導生がどうなるかわかっているな？

はい……  
はい……

下着から外してこっちに自らを見せてみるんだ

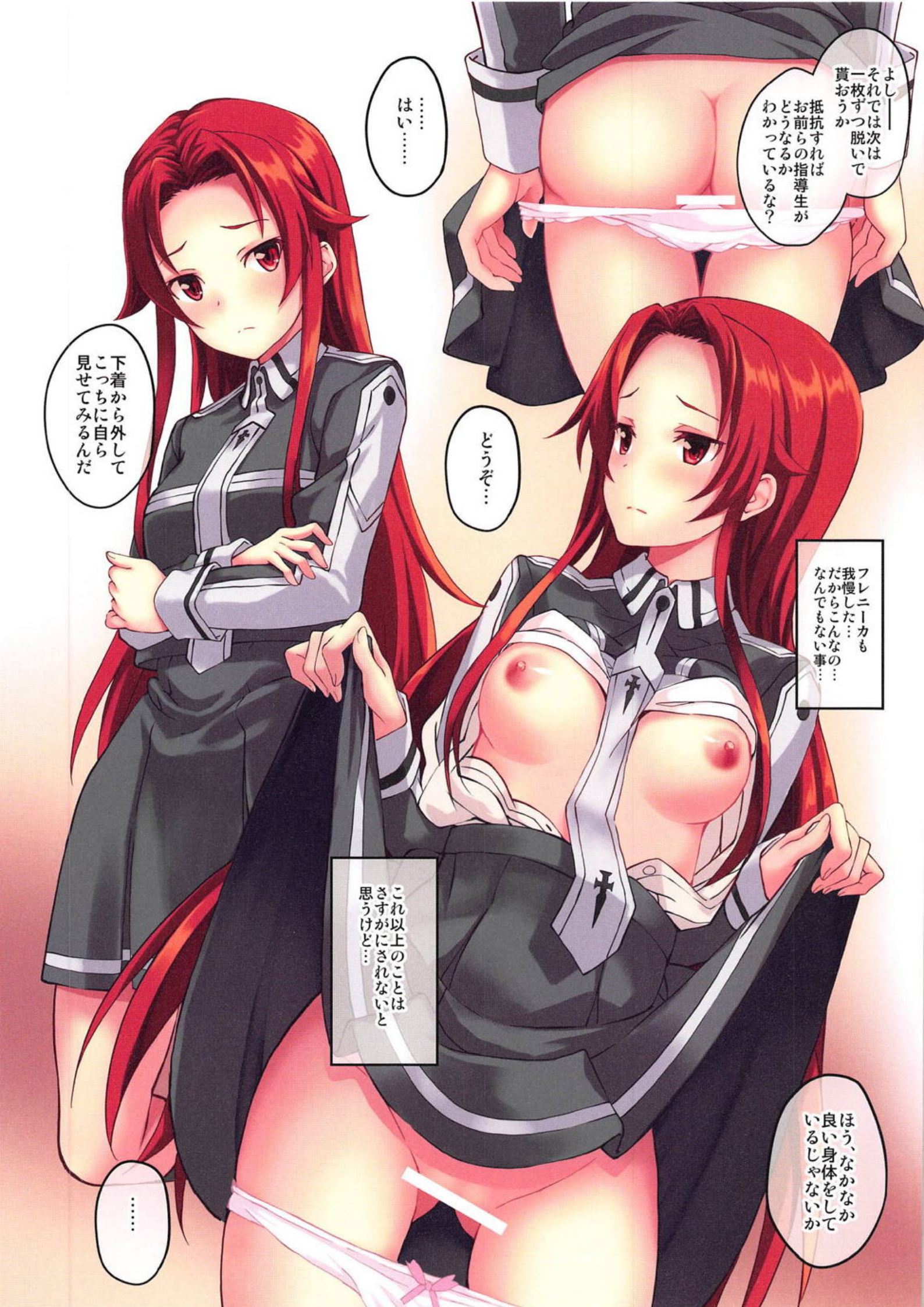
どうぞ……

フレニーカも我慢した！だからこんなもの……なんでもない事……

これ以上のことはさすがにされないと  
思うけど……

ほう、なかなか良い身体をしているじゃないか

……





どうやらお友達は  
従順なようだな

さあ  
ロニア・アラベル  
お前も同じように  
するんだぞ

はい…

おやおや  
意外にも胸が  
あるようだな

これで…  
いいので…  
しょうか…?

ティーゼが  
ユージオ先輩のために  
我慢しているから  
私もそうしなきゃ…

これはふたりとも  
楽しめそうだ

……





なあに、心配することはないぞ  
罰とは言ってもやがて気に入って自ら股を開くようになるからな、ハハハ

それでは手取り足取り指導してやるうじやないか  
しつかりと貴族の心得を理解できるまでたっふりとな…

え…まさか…  
婚姻前の女性に手を出すが…  
するわけが…

何を勘違いしているかね  
これは性行為ではなく  
お前達への賞罰だよ

ひっ!!  
いやああ!!



おやおや綺麗なもののじゃないか  
既にあの山猿に襲われて  
無残に膜を破られて  
思っていたんだがな

ユ、ユージオ先輩は  
こんな卑劣なこと  
絶対にしない!

卑劣?これは  
上位の貴族としての  
正当な権利であり  
正当な指導だ

それが分かるまで  
その身体に  
教えてやろう

い…いやあつ!!  
やめて!!





大人しく私に身を委ねるがいい  
従順にするなら  
乱暴には扱わないで  
おいてやろう

やめて！  
だめです！  
ジーゼツク様！！

こちらもどうやら  
生娘のようですよ  
ライオス殿  
これは実に  
指導の甲斐が  
ありますな

これ以上は…  
これ以上のことは  
やめてください…



ひいっ！

いくぞー



や…

さあ力を抜き  
貴族の慈悲を  
受け入れるがいい



だめえっ！！  
やあああっ！！

いやあああ！！





痛っ!!  
やああっ!!

どうだ?  
男に初めてを  
捧げた気分は?

う、うあああ……  
ああああ……!

どうやら  
私に純潔を捧げた  
感動で泣いている  
ようだな  
その想いに免じて  
優しく可愛がつて  
やろうじゃないか

いやあ……  
いやあ……

もういやあ……  
たすけて……  
ユージオ  
せん……ばい……



ああっ

ひっ

どうだ?  
これが本当の  
貴族の男とぞ  
いうものだぞ

やはり貴族は  
貴族同士で  
楽しむのが  
相応しいかと  
思わないか?

あ、あああ……  
うごかないで……

もうすっかり  
奥まで入ったな

う……ああ……

まじゅ

まじゅ

まじゅ



ひいっ!!  
やああっ!!

くく:  
なかなか  
気に入ったぞ  
シュトリーネン  
家の娘よ

これからは  
突きまくって  
膣を俺の形に  
変えてやる  
からな

私の妻には無理だが  
寵妾として飼って  
やろうじゃないか

あっ!  
あああっ!

それにしても  
小さいくせに  
まったくイヤらしい  
身体をしやがって

どうせもはや  
傷物なのだから  
精々私の  
性処理道具として  
役に立つがいい

いやっ!  
そんなのいやあ!

お、奥に  
あたって:  
ひっ、ひぎいっ!  
う、あああ!

男を淫らに誘惑する  
こんな身体を持ち主には  
さらなる処罰を  
しないとイケないな

そんな……  
言いがかりです……  
う、あああ……







さあ  
そろそろだ

ほら、中に出して  
くださいと  
お願いするのだな

そんなの  
するわけ  
ない…!!

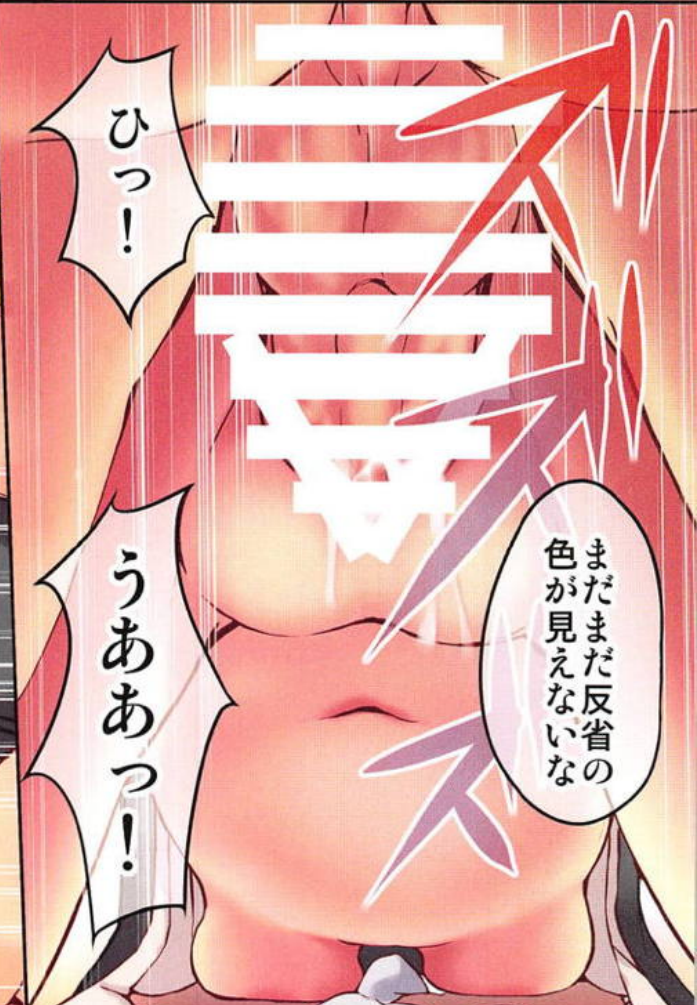
やい、やい…  
やめ…て…



これは念入りな  
調教が必要な

ひっ…  
やめ…

とりあえず  
最初の躰として  
溢れるくらい  
に注ぎ  
込んでやろう

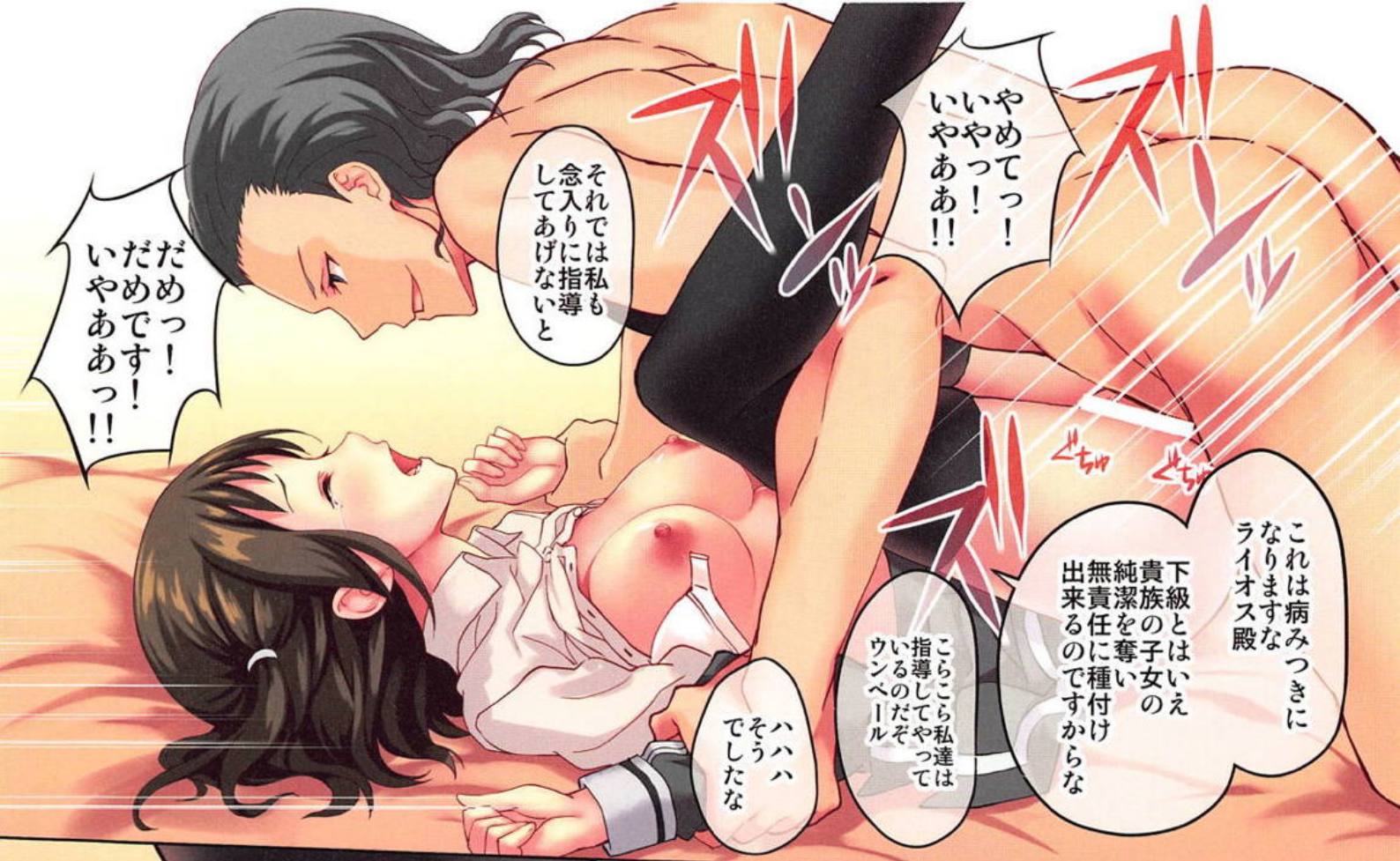


ひっ!

うああっ!

まだまだ反省の  
色が見えないな





やめてっ!!  
いやあ!!

それでは私も  
念入りに指導  
してあげないと

だめっ!!  
いやあ!!

これは病みつきに  
なりますな  
ライオス殿

下級とはいえ  
貴族の子女の  
純潔を奪い  
無責任に種付け  
出来るのですからな

これから私達は  
指導してやって  
いるのだぞ  
ウンペール

ハハハ  
そう  
でしたな



い、いやあ  
あああ!!

さあ存分に  
感謝するがいい!  
私の慈悲に!!!

あ



いくぞー  
孕め！

いやああっ！！

あ、ああっ！！

だだだ  
めめめ  
えええ  
つめつ  
めめめ  
！！！！

うああっ！！

さてー  
それじゃ懲罰は  
終わらだ  
これからは  
調教の時間だな





よし、こっちも挿れてやるぞ…

やああ!!  
こんな…の…  
いつしよに…  
はいら…ない…  
ひびっ!!

あ、あああ…

女は入るようによ  
出来ているのだよ  
色々  
教えてやるから  
覚えておくんだぞ

いやあ…  
あ、あああ…



下の口だけじゃなく  
上にもしつかりと  
飲ませてやるからな

んっ!!  
んむっ!!

んんっ!!  
んんん!!

ふむ、これは  
なかなか良い  
肉壺だな  
ウンペール

ええ、これなら  
存分に楽しみ  
そうですな



ふう…：  
流石にもう体力が  
持たないな

続きはお前たちの  
指導生が来て  
からとしよう

ロニ…エ…  
う…う…

ティ…ゼ…  
あ…あ…

どうした？  
何も心配する  
事はないぞ

傷物になったり  
孕んだりしても  
あいづら等ならちゃんと  
大事にしてくれる  
だろうからなフッフ…

ゴポ  
ド…

ゴポ  
ド…

—そんなことを  
想像しますと  
股間が膨らみますな  
フッフ…

面白い案だが  
頼むから私の前で  
滾らせないでくれ

ムンムン



## 禁忌侵犯

発行 : セブンデイズホリディ  
(<http://howlingmine.com/7dh/>)  
制作 : 篠川あるみ / 古我望  
発行日 : 2018年12月31日(初版)  
連絡先 : [7dh@howlingmine.com](mailto:7dh@howlingmine.com)  
印刷所 : プリントネット株式会社

万が一、落丁乱丁等の不備がございましたら、上記メールアドレスにご連絡ください。  
本書の一部、または全部を無断で複写、複製することは法律で定められている場合を除き、著作権侵害となります



